



看護師・助産師の人材育成及び質の向上（平成24年2月）

昨今、高齢化による疾病構造の変化、患者のニーズの多様化、医療技術の急速な進歩等を背景として、県民の期待に応える医療関係者の人材の育成が一層重要性を増しています。

さて、山口県内では、県立大学、県立萩看護学校、県立衛生看護学院などで、看護師・助産師・保健師などの養成に努めておられますが、県立衛生看護学院は、平成25年3月をもって、58年間にわたる歴史に幕を下ろすことになりました。

この県立衛生看護学院の学生の実習場所は県立総合医療センターですが、卒業生の就職先で一番多いのも、県立総合医療センターであり、来春閉校した後、県立総合医療センターの看護師の確保はどのようにされるのか、一抹の不安を感じています。

また、本年4月、県立大学に、「別科助産専攻」が開設されることになりました。

そこで、県立総合医療センターの独立行政法人化、県立衛生看護学院の閉校、そして、県立大学の別科助産専攻の創設、この3つが進められた「今」、県立大学と県立総合医療センターとの連携を深め、総合医療センターにおける、県立大学の臨床実習人数を増加させてはいかがでしょうか。

そうすることで、センターへの就職率も高くなり、看護師や助産師不足の解消が図られ、また、新人看護師の質の向上にもつながると考えます。

また、センターと県立大学の関係強化により、センターが一貫した教育・研究組織に位置付けられ、結果として医学・医療の高度化にも繋がると思います。

そこでお尋ねします。看護師・助産師の人材育成及び質の向上について、今後どのように取り組まれるのかご所見をお伺いします。

【渡辺健康福祉部長】

医療技術の飛躍的な進歩や県民の医療に対するニーズが多様化する中、高度化・専門化する医療、看護に的確に対応できる看護職員が求められており、看護師・助産師の「人材育成」及び「質の向上」に向けた取組みが必要となっております。

まず、「人材育成」については、看護師養成所における教育内容の充実が重要です。

近年、県外で実施されてきた看護教員養成講習会を、来年度は県内で開催し、専門性の高い看護教員の養成を促進することとしております。

次に、看護職員の「質の向上」については、病院等の新人看護職員など、看護職員の研修の充実に取り組むことが重要です。

なお、県立総合医療センターにおける臨床実習人数を増員されてはどうか、という御提案につきましては、県立大学及び県立総合医療センターに伝えてまいります。

県といたしましては、今後とも、看護師・助産師の人材育成及び質の向上対策に積極的に取り組み、安心・安全で良質な看護サービスが提供できるように努めてまいります。

質問内容の全文はこちら ① ②

答弁の全文はこちら